



①国
韓国

②場所
釜山・甘川文化村

③写真の説明

学科の研修中の観光で行きました。釜山の甘川文化村は、おとぎばなしのようなカラフルなお家が並んでいたり、韓国のマチュピチュと呼ばれるほど景色や自然が綺麗な場所です！また実際に暮らしている方もおり韓国の歴史を知ることができる場所でもあると思います。天気が良く思わずとった1枚です。



①国
中国

②場所
雲南・麗江古城

③写真の説明

麗江古城は、中国の雲南省にある、ユネスコ世界文化遺産に登録された古い町並みです。多民族が共存する町であり、一年を通して温差が小さく、陽光に恵まれた気候を有し、伝統と自然、そして人々の暮らしが調和した場所です。



①国
ラオス

②場所
クアンシーの滝

③写真の説明

ラオスの高校訪問の目的のために、ラオスに訪れた。この滝は、ラオスに行ったらぜひ見てほしい滝。なぜなら、この滝で泳ぐこともできるし、滝の周りをトレッキングしたり、きれいな写真を撮ることができるからだ。



①国
イギリス

②場所
ヨーク・ゲートハウスコーヒー

③写真の説明

この写真は、私がヨークを訪れた初日の学校帰りに、ホストマザーが連れて行ってくれたコーヒー屋さんの屋上テラスから撮ったものです。雲が地上に近く、寒さを感じるはずなのに、空は真っ青で、爽やかな気持ちになりました。写真の上の方に月が見えるのも、この写真を好きな理由のひとつです。着いたのが閉店時間ギリギリだったため、また改めて来ようと約束しました。そしてバレンタインデーの日、待ち合わせをして一緒に訪れました。大学の授業の都合上時間がギリギリになり、焦って必死に走った結果、寒いのに汗だくになった記憶があります。なんとか営業時間に間に合い、チョコレートケーキとコーヒーを楽しむことができました。

No.35



①国

ボスニア・ヘルツェゴビナ

②場所

モスタル

③写真の説明

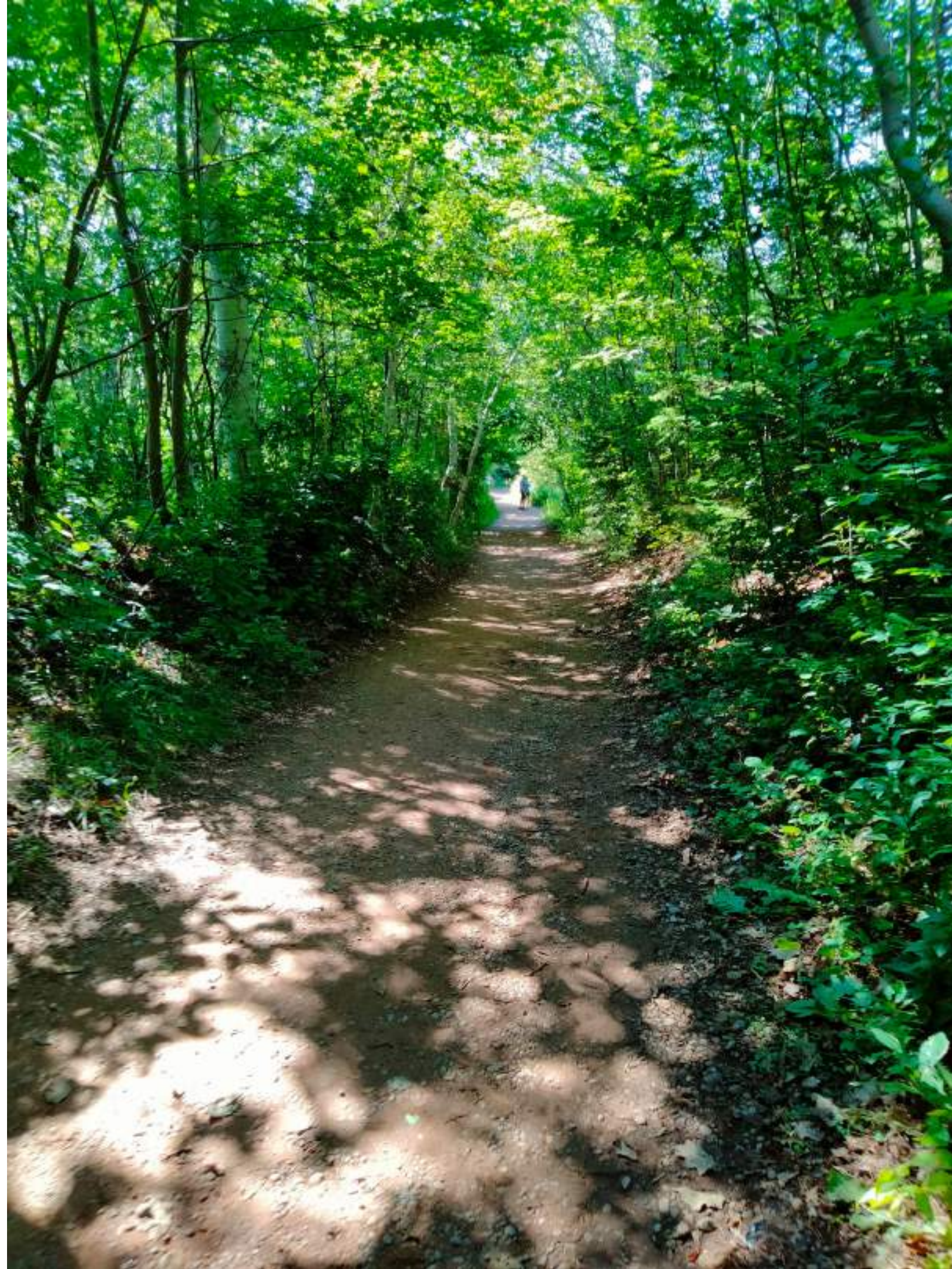
早朝のモスタルには、美しい
景色が広がっていた

No.36

①国
カナダ

②場所
プリンスエドワード島・赤毛のアンの家
周辺の木立

③写真の説明
赤毛のアンの家（Green Gables House）周辺にある木立の中で撮影。自然光と緑の輝きがとても綺麗で、ここを駆け走るアンとダイアナの姿が目には浮かぶようでした。



No.37

①国

中国・香港

②場所

香港・Yick Cheong Building 益昌大廈

③写真の説明

香港の中心部に位置する異世界のような
モンスターマンション。



①国

オーストラリア

②場所

クーンババ自然保護区

③写真の説明

ホストファミリーの家から近い場所に、自然保護公園があって訪れました。無料で立ち入ることができ、散歩している人はたまにいましたが人通りが少なく自然を感じることができました。この保護区では、野生のカンガルーを近くで見ることが出来ます。さらに、運がいいと木の上で眠っているコアラを見つけることができます。この撮影をした際は、たまたまコアラが木を登っているところだったため、驚き急いで撮影しました。コアラの可愛い後ろ姿に癒されました。



No.39



①国
デンマーク

②場所
ニューハウン

③写真の説明
青空と雲が広がるデンマークの
観光スポット・ニューハウン。
カラフルな建物と船が水面に映
り込み、まるで絵画のような美
しさでした！



①国

中国・香港

②場所

ビクトリアハーバー

③写真の説明

100万ドルの夜景と言われているらしい?! 大切な人と見に行くことができました!

No.41



①国
スイス

②場所
マッターホルン

③写真の説明

帰国前最後の旅での一枚です。山頂から広がる絶景を前に、一年間の留学での自分の成長を実感した瞬間でした。

No.42

①国

オーストリア

②場所

ウィーン・ベルヴェデーレ宮殿

③写真の説明

ベルヴェデーレ宮殿内から撮影したウィーン市内。広大な庭園が手前に広がり、赤い屋根の建物がベルヴェデーレ下宮です。さらに奥には一際背の高いシュテファン大聖堂が望めます。



①国
ベトナム

②場所
ラオカイ省サパ

③写真の説明

キャリアセンター主催のベトナムスタディツアーの5日目（9月7日）にサパに訪れた時の写真です。9月2日の建国記念日の余韻が街中に色濃く残り、上空には真っ赤な国旗が飾り付けられ、街全体が祝祭ムードに包まれていました。暮れはじめた空の青と、真っ赤な装飾のコントラストが目焼き付けながら、夕食探しに街を歩いたのを覚えています。絶景や美味しい料理の写真も数多くありましたが、この一枚にはベトナムの人々が抱く揺るぎない愛国心が夕景の中に鮮やかに現れていると思います。忘れられない瞬間を切り取った一枚をぜひ出品したいです。





①国

カンボジア

②場所

アンコールワット・アンコールトム

③写真の説明

あまり海外渡航と言ってピンとくる国ではないカンボジアに初めて足を踏み入れ、さまざまな文化を見た。その中でもアンコールワットの壮大さ、厳かな雰囲気には圧倒された。この写真はクメール王国の最後の首都であるアンコールトム。私が見た時にはよく見ないと顔だとわからないような、もう彫られた顔が酸性雨などでとかされたものもあった。このような重要な文化財を守っていかねばならないと感じた。また頭のとっぺんは見えないが、穴が空いていて、中に入ると太陽の光が差し込み幻想的で、忘れることのできない景色だった。

2025年度

写真コンテスト

皆さんの投票

お待ちしております！

国際センター

